

ISO行動指針 “5SとABCの徹底”

オオケン便り

お知らせ

<PPP事業部>

<廿日市市民活動センター>

4月より様々な新規事業を開催している中で、“フレイル予防”を目的とした健康教室をオオケンの得意先でもある広島県環境保健協会の協力を得て継続開催しています。健康教室では、食生活の見直し、フレイル予防のための料理教室等を企画しており、目玉としては“フレ♪ダン廿日市”と称して、音楽に合わせて身体を動かして普段使っていない筋肉を動かし、ダンスの振り付けを覚えることで脳トレにもなるという企画が好評です。その他にも、防災教室や講演会等の事業も開催していますので、ご興味がある方はお問合せください。



※フレ♪ダン廿日市”は毎月第4金曜日にセンター内研修室で無料開講しています。

<広島市留学生会館> (国際交流・国際協力の拠点)

11月5日(日)、4年振りとなる“2023留学生会館まつり”を開催しました。当日は晴天に恵まれ、各国料理屋台、各国紹介ブース等の企画で2千人を超える来館がありました。今回は、広島修道大学の学生にも実行委員として企画段階から携わって頂き、新たな連携をすることができました。今後も引き続き、会館が国際交流・協力の拠点となるような運営に努めていきます。



<広島市中小企業会館>

中小企業会館では施設の利用促進策として、例年閑散期となる年末年始を活用して会館会議室で“初心者向けパソコン教室”の開催を予定しています。講師は、広島刑務所の職業訓練でビジネススキルパソコン訓練の講師経験がある本社PPP事業部の穂土課長にお願いします。内容はエクセル、ワードの基本操作で受講者は原則としてオオケン従業員としています。この機会にパソコンのスキルアップを図りたい方は是非ご参加ください。

※開催期間：2023.12/25~28、2024.1/4~6 (各日定員上限10人)

<クレンリネス事業部>



10/6(金)午前、北部医療センター安佐市民病院に、荷物搬入の為に訪れた業者の方が荷下ろし中、崩れてきた段ボールで頭を打ち出血した事案がありました。それを目撃した平川禎己清掃副責任者が、止血手当、救急外来への付き添い等迅速かつ的確な措置を講じたところ、幸い大事に至らずに済みました。その適切な対応に敬意を表するとともに、他の模範となる行動であったことから、その功労をたたえ社内表彰されました。

10/27(金)に令和5年度のアイコス検定2・3級試験を実施し、19名の方が受験され、2級合格者が12名、3級合格者が2名という結果でした。来年度も実施予定です。是非積極的にチャレンジしてください。

<セキュリティ事業部>

コロナ明けの年末を控え、これまで自粛されていた忘年会が数多く開かれ、酩酊者への対応が予想されます。その際に注意することは、自身の安全のため複数名での対応を基本とし、一人現場などやむを得ない場合には十分な距離(6歩以上)をとって声掛けをすることです。

また、いくら注意しても聞き入れられない場合には、無理をせず警察に通報するようにしてください。

<東京支店>

東京支店で設備管理を25年以上受託している施設の1つに「東京都豊島合同庁舎」があります。地上7階地下6階のこちらの施設で、去る10月22日に自家用電気工作物の年次点検がありました。毎年多少のトラブルが発生するこの点検ですが、今年は当社からお客様への提案で予め「仮設切替盤」という設備を取り付けて貰い、その効果もあって今年は安全に・効率良く・ノートラブルで終了することができました。長年管理している施設でも常に「より良い何か」を探して仕事をすればお客様の満足に繋がることを改めて確認しました。

<FM事業部>

FM事業部では、令和5年度目標のひとつとして無事故・無災害を掲げて取り組んできましたが、10月24日に1件、事業所において労働災害が発生しました。その事故は、空調室外機点検終了後に架台に足を乗せようとしたところ、誤って約60cmある溝の底に足をついてしまい踵を骨折するというものでした。

「クラス別トレーニング」により、既に情報共有していますが、各事業所では、同様の事故を起こさぬよう作業手順書の見直しや日常業務に潜んでいる「危険」を洗い出し、予防対策に取り組むことが重要です。慌ただしい年末に向け、今一度「安全第一」を強く意識し、作業前にはKYミーティングを行い、「指差呼称」の励行をお願いします。



<SP事業部>

イベント設営の一環で、印刷物の作成（ポスター、チラシ、DM、カレンダー）、サイン作成（イベントタイトル看板、立看板、誘導看板）も手掛けています。デザインの作成から行っていますので、お得意先への提案や各事業所で印刷物・サインが必要な場合はお声掛けください。

（お問い合わせ先：SP事業部 三澤・林 082-263-0013）

<安全衛生委員会>

今年度の前期6か月間（4月～9月）で労働災害の発生はありませんでしたが、10月に入り立て続けに3件の労働災害が発生しました。その内1件は休業を伴う重大事故となりました。

年末に差し掛かり、何かと慌しくなります。普段は起こらないような事故につながる人為的ミスが、気持ちの焦りなどにより起き易くなります。労働災害をなくすためにも、安全の基本を守り、5S・ABCを徹底し「事故を起こさない」「事故に遭わない」ようにしましょう。今年も残り1ヶ月余りですので、あとは無事故無災害で令和5年を終えましょう。ご安全に！！

<磨種（とぎぐさ）>

今年5月8日より新型コロナウイルス感染症の位置づけが二類相当から五類へ移行されましたが、始生代より存続している細菌やウイルス類の存続能力は計り知れないものがあり、これからも生きとし生けるものとの闘ぎあいや折り合いは続くものと考えられます。

オオケン登録商標I-CoSSをブラッシュアップ・バージョンアップするため、今年期限切れとなる特許庁登録商標を変更手続き中です。向後は社内研修によるアイコス資格者の数・質の向上を目指す為、広島大学医学部名誉教授・河野修興先生の指導を求めました。オオケンの所属業務分野を問わず、アイコスを勉強したいという社員有志の参加に門戸を開いています。アイコス塾への参画希望者は経営管理部にお申し込みください。

財産や地位を誇った人でも、あの世に旅立つときには持てる全てを手放さなくてはなりません。執着が大きいほど葛藤や不安も大きくなります。その意味でも出来るだけ早いうちに命あるもの・良いもの・美しいものを見る目を開く習慣を身に着けたいものです。朝、起きてからのルーチンは特別なものではありません。手が動く足が動く、息ができて食事ができる、働く職場がありアイコスがある、夜寝る寝床があるなど極当たり前の日常の中に、小さくとも素晴らしい宝を見つけ感謝し、それらを続けることで人生の一瞬一瞬が連続した奇跡の上にあると気づけたときに、豊かな人生の幸せを見つけることとなります。

ところで、11月3日の東京武道館全日本剣道選手権で広島代表の梶田龍介四段が広島県勢として初めて優勝したことは剣道関係者のみならず多くの広島県民に勇気と感動を与えてくれました。23歳の機動隊・海田署勤務警察官いわく『幼いころから色々な方に稽古をつけて頂きその先生方に少し恩返し出来たかなと、まだまだ大学卒業して就職したばかりなので、この結果に奢ることなく一からしっかり頑張ります』という謙虚なコメントに、思わず“実るほど頭を垂れる稲穂かな”と口ずさみました。感謝。